



SON-DAY, MAY 3rd 2026 WORSHIP SERVICE No.1163

単立キリスト教会 マラナサ・グレイス・フェローシップ Maranatha Grace Fellowship [MGF] Since Jan. 18, 2004

教会所在地：〒380-0802 長野市上松2丁目7-20 ☎: 026-219-2388 牧仕：Kaz、菊地 一徳 (かずなり)

☆ <https://mgfchrist.com> ☆ www.facebook.com/mgf.nagano.japan ✉ jesus-mail@mgfchrist.com

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「私たちが知っているボウリングは、5世紀頃にドイツで始まった。人々はピンを悪魔に見立て、丸い石や重いボールを武器にしてピンを倒した。成功すれば、人生における悪魔の誘惑に打ち勝ったことを意味し、失敗すれば、まだ罪が多すぎるとされた。」

(マルティン・ルター)

A 宗教改革マルティン・ルターは、実は現代のボウリングのルールの基礎を築いた人物としても知られている。

当時のドイツでは、石や棒、動物の骨などを使った様々な形態のボウリング（当時のドイツ語で「ケーゲルン」）が人気であったが、ピンの数（3本から17本まで）や遊び方は地域ごとにバラバラであった。熱心なボウリング愛好家であったルターは、この状況を整理し、9本のピンをひし形に並べるスタイルを定め、ルールを統一したとされている。

ルターは、自宅の庭に専用のレーン（ボウリング場）を作って子供たちと一緒に楽しんでいたという逸話が残っている。セントルイスにある国際ボウリング博物館・殿堂には、マルティン・ルターが自宅脇のシングルレーンでボウリングをしている等身大のジオラマが展示されています。博物館のパンフレットには、熱心なボウラーだったルターが「キリスト教徒は人生において完璧を目指すべきだ。しかし、ガターボールを出してしまっても、すべてが失われるわけではない」と説いたという記述がある。

当時のドイツでは、ピンを「悪魔」や「罪」に見立て、それを倒すことで自分の魂を清めるという宗教的な意味合いを持たせて遊ばれることもあった。ルターは、スポーツがキリスト者の生活において健康的でポジティブな役割を果たすと考えており、競技を通じて規律や楽しみを教えることを推奨していた。

ボウリングウェアブランド「GOLUTH（ゴルー思）」のホームページによると、「ブランド名は、ボウリングのルールを世界的に統一したドイツの改革者「マルティン・ルター」の名称ルター「Luther」から頭4文字を抽出し、「進む、向かう、続ける」とい

う前向きな意味を多く含む「GO」を組み合わせて作られた。「マルティン・ルター」へボウリング継承の感謝の意を含めると共に、ボウリングという競技が今後も継続・発展していく事を願いブランド名として採用致しました。」とある。

【バンパーボウリングとクリスチャンウォーク】

お子さんとボウリングに行ったことがある方なら、バンパーボウリングをご存知でしょう。これは、ボウリングを始めたばかりの小さなお子さん向けにレーンを工夫したものです。ボタンを押すとバンパーが出てきてガターを覆い、ボウリングボールがレーンから外れないようにします。ガターボールは誰も好きではありませんし、ピンが倒れた方がみんなにとってずっと楽しいものです。先日、祈りの部屋で、クリスチャンとしての歩みはバンパーボウリングにとってもよく似ているという考えが頭に浮かびました。最初は何気ない考えでしたが、祈りの中で神に尋ねた後、本格的な比喩として理解できました。

まっすぐで狭い道

マタイによる福音書 7:14 には、命に至る道は狭い道であるとあります（欽定訳）。これは、ボウリングのボールが10本のピンすべてに当たるために必要な道筋です。少しでも左右にずれると、数本しか当たらなかつたり、スプリットになってしまうかもしれません。しかし、ゲームを始めたばかりの小さな子供にとっては、狙いが定められないことがあります。バンパーがあれば、左右に大きくずれたボールを優しく中央に戻して、何かに当たる可能性が高まります。箴言 3:6 には、私たちが主に信頼するとき、主は私たちの道をまっすぐにしてくださいとあります（NIV）。

バンパーは境界線である

では、神がご自身の子どもたちが狭い道を安全に歩み続けるために設けた境界線とは何でしょうか？まず第一に、聖霊です。聖霊は私たちをすべての真理へと導き、私たちの考えや行いが神の御心にかなわないときにはそれを知らせてくださいます。神は愛する者を懲らしめます。神の戒めに耳を傾け、人生における神の御心に従うことは、私たちが神の道の正しい道へと優しく引き戻されるようなものです。

第二に、コリント人への第二の手紙 10章 5節にあるように、「すべての思いをキリストに従わせる」（新欽定訳）必要があります。実は、このたとえ話はここから着想を得ました。私は自分の考えが度々行き過ぎてしまい、それを抑え込まなければならぬと感じていました。時には、私たちは「過剰修正」してしまう傾向があります。自分に価値がないと感じて悩んでいるなら、気をつけないと、過剰修正して傲慢になってしまうかもしれません。私たちは常に、完璧な中心点を見つけようと、バンパーからバンパーへと揺れ動いているのです。

第三に、私たちは常に聖書に書かれていることに倣うよう努めなければなりません。私たちは御言葉を聞くだけでなく、実行する者でなければなりません。聖書に反する行いをしていることに気づいたら、すぐにその行いをやめて悔い改める必要があります。つまり、方向転換して別の道を進む必要があるということです。第一ヨハネ 5章 17節には、「不義はすべて罪です」とあります。私たちは聖書が命じる通りに行動するよう努めなければなりません。主を悲しませる行いは避けなければなりません。

ボールの重さ

ボウリングの体験を大きく左右する要素の一つが、ボールの重さです。小さな子供は重いボールを持ち上げられないため、6ポンドか8ポンドのボールが限界かもしれ

TRUE WORSHIPPERS, HOT GOSPELLERS, JESUS FREAKS

To Know Christ And To Make Him Known ☑ Love God And Love People ☑ Jesus Is Coming

ません。年長の子供や力持ちの男性は、12～16ポンドのボールを持ち上げることができます。軽いボールは振りやすく、リリースしやすいですが、重いボールの方がピンに強い衝撃を与えることができます。

信仰者として、私たちは皆、キリスト教の歩みにおいて同じ利点や欠点を与えられているわけではありません。楽な生活を送っていて、ピンを数本しか打てない人もいます。一方、恐ろしい災難を乗り越えて、完璧なストライクを達成する人もいます。神は私たち一人ひとりを御自身の目的のために用いてくださいます。絶望的な状況から立ち上がった人は、同じような試練を経験している人々に大きな影響を与えることがよくあります。そして、苦難の人生に召された人は、楽な生活を送っている人よりも、主により深く目を向けることができる場合が多いのです。

ボールはどこへ行くの？

大振りしない限り、レーン上のボールはすべて同じ場所に集まります。そして、次の投球のために、ボウラーの横にあるドッキングステーションに戻されます。聖書は、信者が狭い道を外れることを選べば救いを失う可能性がある」と明確に述べています。そうでなければ、真の、聖霊に満たされたクリスチャンは、途中で何本のピンを倒したとしても、最終的にはイエスのもとにたどり着くでしょう。

ピンとは何ですか？

ピンは天国での報いです。マタイによる福音書 16章 27節には、「人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます。そして、そのときには、それぞれの行いに応じて報います」とあります。私たちは救いのために働いているわけではありません。レーン上のすべてのボールは、イエスのいるドッキングステーションに収まります。しかし、バンパーに対する狙いや

成功は人それぞれ異なります。多くのピンを倒し、神の国のために大きな貢献をし、犠牲に満ちた人生を送ることで、天国で大きな報いを受ける人もいます。

コリント人への手紙第一 3章 14節には、「だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます」とあります。一方、バンパーを付けていても、溝に落ちてしまう人もいます。コリント人への手紙第一 3章 15節には、「だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります」とあります。

ファウルライン

最後に、ファウルラインはボウリングにおいて非常に重要です。ボウラーは、安全かつ公平なゲームを行うために、スイングを行う際に必ずラインの後ろにいなければなりません。レーンは滑りやすく磨かれているため、転倒して怪我をする恐れがあります。また、ラインは中立的なスタート地点として機能し、どのプレイヤーにも有利な点がないようにしています。もし誰かがファウルラインを越えてしまった場合、それまでに獲得したポイントはすべて没収されます。サタンは、この世における私たちの敵です。彼は常に私たちにファウルラインに誘い込み、怪我をさせたり、ポイントを奪ったりしようとしています。私たちが獲得した報酬を守り続けるためには、主のそばにいて、主のラインから十分に離れておくことが重要です。コロサイ人への手紙 2章 18節には、「だれにもあなたがたの報酬をだまし取られないようにしなさい…」（新欽定訳）とあります。

審判についての最後の考察

もしかしたら、あなたも私と同じように、長い間バンパーボウリングのことを考えていなかったかもしれません。クリスチャンとしての歩みを例えるには少し奇妙な比喩

かもしれませんが、的を射ています。どんな大きさのボールを与えられようとも、バンパーを使って正しい道を歩み続け、他者にとって大きな意味を持ち、天国で報いを受けるピンを狙うのは、私たち自身にかかっています。私たち一人ひとは、キリストの裁きの座の前に立つこととなります。私たちは皆、自分の行いについて説明責任を負わなければならない、そして皆、「よくやった。良い忠実なしもべだ」という言葉を聞きたいと願っています。結局のところ、イエスを喜ばせることこそ、私たちが得られる最高の報酬なのです。

(ブログ: No Longer Lukewarm より)

ちなみにラグビーの生みの親であるウィリアム・ウェップ・エリスもクリスチャンで、後にイングランド国教会の牧師となる。バスケットボールの生みの親であるジェームズ・ネイスミス、ならびにバレーボールの生みの親であるウィリアム・G・モーガンも共にクリスチャンで、YMCA (キリスト教青年会) の体育指導者であった。さらに「ソフトボール」という名称は、YMCA 主事であったウォルター・ハケンソンによって考案・提案された。Ω

<お知らせ Announcement>

- ★5月 6日 (水) 午後は会堂大掃除と夕方から BBQ フェローシップ
- ★5月10日 (日) 母の日 男性陣と子どもたちによるポットラック
- ★5月24日 (日) ペンテコステ特別礼拝 スペシャル・ポットラック
- ★5月31日 (日) ディアコノス・ランチ

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1: 23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2: 10)。